

## 高校再編計画後期計画（最終案）説明会の概要

学校教育室高校改革担当

### 1 実施状況

ブロック名	ブロック内市町村名	実施日時	場所	出席者数	
				一般参加者	報道関係
盛岡	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町	5月12日(水) 18:30～20:30	岩手県民会館 中ホール	84	14
胆江	奥州市、金ヶ崎町	5月7日(金) 18:30～20:00	奥州市文化会館 中ホール	60	5
両磐	一関市、平泉町	5月11日(火) 19:00～20:30	一関文化センター 中ホール	126	6
二戸	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町	4月28日(水) 18:30～20:30	二戸市民文化会館 中ホール	123	8
計				393	33
				426	

### 2 説明会の内容

#### (1) 後期計画（最終案）の内容について

本県の高等学校教育の現状や課題、後期計画（最終案）の基本的な考え方や具体的な取組について、資料に基づき事務局から説明を行った。

<p>&lt;説明内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校再編計画後期計画について</li> <li>・ 県立高校における現状と課題について</li> <li>・ 後期計画策定に向けた取組の経緯について</li> <li>・ 地域等から寄せられた意見や提言等について</li> <li>・ 原案から最終案への検討の内容について</li> <li>・ 盛岡南・不来方 統合新設校の姿について</li> <li>・ 盛岡工業高校の移転・整備について</li> <li>・ 水沢工業・一関工業 統合新設校の姿について</li> <li>・ 福岡工業・一戸 統合新設校の姿について</li> </ul>	<p>※ 各ブロックに関連する内容を中心に説明</p>
---	-----------------------------

#### (2) 後期計画（最終案）について質疑応答

後期計画（最終案）に対する質問について説明を行った。また、意見等については、必要に応じて回答した。

### 3 主な質疑・意見等

#### (1) 盛岡ブロック（盛岡南高校、不来方高校の統合）

- ・ 盛岡市南部や矢巾町は、人口増加が見込まれており、当面は、盛岡市内の高校の学級減で対応し、人口の増加に備えた余力を残しておくことが必要ではないか。
- ・ 各地域の高校の魅力化に取り組み、盛岡市内への一極集中の是正状況を見極めた上で、統合を検討しても遅くはないのではないか。
- ・ 後期計画は、全県的狀況をしっかりと把握し、10年、20年後を見据えてよく練られており、県内どの地域に居住していても高校教育を受けられるという姿勢が貫かれている。
- ・ 県教委の再編の方針については、全く間違っているものではないと感じた。学校の存続を議論する以前に子供達がいかにして質の良い学びを得るかということに重点を置くべきではないかと改めて感じた。

#### (2) 胆江ブロック（水沢工業高校、一関工業高校の統合）

- ・ 水沢工業高校は各種資格取得に力を入れ、地域に産業人材を輩出し地域にとって無くてはならない学校であると考え。他方、少子化による入学者の減少や施設設備の老朽化の状況に鑑み、新たに大規模な工業高校を整備する計画は評価している。
- ・ 生徒数減少への対応としながらも、工業の学びを確保しつつ、充実した施設設備を整備して、新たな魅力ある学校をつくるという計画にはとても良い印象があり、賛同する。大人の事情に左右されることなく進めてほしい。
- ・ 統合新設校の設置場所の選定が大きな課題である。設置場所決定に至るプロセスを明確にし、客観性、透明性をもって県教育委員会の責任において決定していただきたい。
- ・ 良い学校であれば通学に多少の不便を感じても生徒は入学を希望するのではないか。産業関係者も学ぶ場とすることによって魅力が高まると考える。

#### (3) 両磐ブロック（水沢工業高校、一関工業高校の統合）

- ・ 現在、一関市へのさらなる企業誘致に取り組んでいる状況、また、一関工業高等専門学校においては外部との様々な連携を図っていききたいとの考えを持っていること等に鑑み、統合案は了としたいが、当該地域への設置をお願いしたい。
- ・ 「今後の高等学校教育の基本的方向」（H22.3策定、H27.4改訂）においては、ブロックを越えた統合について示されていないため、計画に盛り込むことができないのではないか。
- ・ 定員充足率の高い両校を、ブロックを越えてまで統合を行うことについては違和感がある。また、令和7年度以降に6学級規模の工業高校を新設しても、生徒数の減少から早々に学級減となる可能性もあるのではないか。
- ・ 統合新設校の設置場所については、通学の利便性を考慮してほしい。

#### (4) 二戸ブロック（福岡工業高校、一戸高校の統合）

- ・ 福岡工業高校は、難関資格の取得者を多く出すなど成果をあげており、地域にとって重要な学校である。県北振興の観点からも、単独校として存続をお願いしたい。
- ・ 福岡工業高校は、工業における基幹である機械、電気の学科を有する県北唯一の工業高校であり、地域に工業の学びを保障するため、現在の2学科を維持してもらいたい。また、令和3年度の入学者が増加したことも考慮してもらいたい。
- ・ 工業の学科が2学科から1学科となった場合、教育の質を維持できるのか疑問である。
- ・ 生徒数の減少が避けられない状況にあり、このままでは両校の魅力が失われることにより、共倒れとなることが予想され、市町村単位で考えるのではなく二戸地域の高校教育を守るという視点で考える必要がある。このような視点から示されている今回の統合案には賛同する。